

【大阪】「枚方愛の強すぎる男」が作る1個1,000円の“青い”高級卵が誕生！ 希少な鶏「アローカナ」を育てる養鶏場が贈答用商品を3/1より販売 ～インフラゼロから養鶏場を建設！先行販売している定期便は予約困難に～

ふじよだ養鶏（住所：枚方市尊延寺2732-1、代表者：余田 慎太郎）は3月1日（日）から、希少な鶏「アローカナ」が産む青い卵を、贈答用卵「恩玉」（10個入り、1万円）として販売いたします。これまで年間契約の「定期便」を中心に展開し、すでに予約困難な状況となっている当園の卵。今回、多くのお客様からの要望を受け、さらに厳選を重ねた「芸術品」としての贈答用シリーズが誕生しました。



■既存の定期便はすでに予約困難に。お客様の要望を受けギフト用商品を開発

ふじよだ養鶏は、全国の採卵鶏の中でも0.015%（1億3000万羽のうち、2万羽）しかいない「アローカナ」が産む卵のみを扱っています。ストレスの少ない環境で育てるために荒れ地の状態から余田自身が開拓・整備し、雄・雌一緒に飼育する「完全平飼い」の環境を設計。飼料も牡蠣殻、大麦、ぬか、有機野菜、動物性たんぱく質などを独自にブレンドし、発酵させた最上級のものを与えています。生産数が限られることから、これまでは提供数が予測しやすい家庭向けの定期便（サブスクリプション）として展開し、なかには1年先まで買えない商品もございます。その一方で「お世話になった方へ贈りたい」というギフト商品としての要望も絶えませんでした。ギフト市場も近年では毎年伸長していることもあり（※）、贈答用商品として「恩玉」を販売することにしました。色・形・サイズともに最高ランクの卵をピックアップし、特製木箱に詰めてお送りします。大事な人への「ありがとう」を伝えるギフトとしてご利用ください。

※出典：矢野経済研究所「ギフト市場に関する調査を実施（2025年）」より

■「恩玉」商品概要

価格：10,000円（10個入り、特製木箱納め）
特徴：翡翠のような青い殻。高い栄養価と濃厚なコク 卵は100%近くが有精卵となっています
販売：公式HP (<https://fujiyoda.com/>) からお問い合わせ

■「ふじよだ養鶏」誕生背景にあった“地元の名産を作りたい”想い

代表の余田は、生まれも育ちも枚方の“地元愛”にあふれた男です。これまでも淀川での「いかにレース」を企画するなど、街を盛り上げる活動に奔走してきました。そんな中、ふと投げかけられた「枚方の名産品ってなに？」という言葉。答えに詰まった悔しさが、本プロジェクトの原動力となりました。

電気・水道・ガスもない尊延寺の耕作放棄地を、工務店を運営していた時の知識を活かして切り拓き、鶏舎を建設。「鶏が鶏らしく生きられる環境」を追求し、臆病なアローカナがのびのびと育つ「完全平飼い」を実現しました。今も毎朝5時に起き、鶏たちのお世話をしています。



ホームページ <https://fujiyoda.com/>（熱い思いがたくさん詰まっています） 「枚方の鳥人間」こと 余田慎太郎

ぜひ、貴社媒体でお取り扱い頂きますようお願い申し上げます。ご不明な点はお気軽にお問合せ下さいませ。

●取材に関するお問い合わせ●

ふじよだ養鶏 担当：余田 TEL：080-9059-0785 mail:tori000kokeko@gmail.com